



幕末、志という言葉がぴたりと時代にはまった。
大政奉還150年 中岡慎太郎、坂本龍馬没後150年
様々な立場の違いで、多くの者が斃れていった
これらの志士たちは間違いなく徳川260年の文化が
育んだ者たちである。

150年を経て、ずいぶんと変わってしまった日本
私達を写す鏡、江戸時代は今何を我々に問うのか

第一回

中岡慎太郎顕彰短歌大会

作品募集

嵐山たかねの桜折りかざし 帰れわが背子花ちらぬまに

上記は、中岡慎太郎の妻兼が、夫慎太郎に”所用があつて京都へ行くから印鑑を出してくれ”といわれ、脱藩するとは知らず夫の旅支度を済ませ送り出す、烏が森への山道を登っていく夫の後姿を見送りながら、胸騒ぎを覚え詠んだ歌です。

この歌を皆様に知っていただきたく、2016年は高知県内の短歌愛好者の皆様に、作品を募集しました。2017年は大政奉還150年にあたり、慎太郎龍馬没後150年にもなります。志を持った若い方々が、様々な意見の違いで争い、多くの有為な者達が日本の夜明けを見ずに斃れています。これらの方々の妻子、恋人、家族は誇らしくも悲しい思いを抱え、明治という世を生きたとおもいます。

2017年と2018年は、日本各地で催しものがありますが、当法人も幕末に活躍し、斃れた者達を思い、以下のテーマで短歌を全国公募いたします。それぞれの地域の志士への思い、またその妻、恋人、家族への思いあるいは、ご自分の経験などを、下記のテーマでご自由にお書き下さい。

『自由題』『志』『別れ』『愛』『家族』のテーマでご投稿ください。

選者 井上佳香先生・西岡瑠璃子先生・依光ゆかり先生

選歌協力 高知大学文芸創作サークル海老銃

各賞 『中岡兼賞』『中岡慎太郎賞』『選者賞』『北川賞』『奨励賞』

副賞 入選：記念品[北川産新米5Kg 入賞者：記念品+ユズギフトセット

(高校生以下の部の入選、入賞者は、上記及び慎太郎読本or慎太郎グッズ)

◎ テーマ 一般の部 『自由題』『志』『別れ』『愛』『家族』二首
高校生以下の部 『志』『家族』『自由題』 一首

◎ 発表は9月中旬、入選入賞者にお知らせいたします。また、北川村観光協会、中岡慎太郎館ホームページ上にもお知らせします。

◎ 入賞作品展示は、北川小学生及び書家知原先生により半切に書き10月29日～11月17日まで北川村柏木にある慎太郎生家にて展示しご自分の毛筆作品をご希望される方は、展示後に贈呈いたします。

◎ 発表、表彰式は、10月29日、日曜日(中岡慎太郎生家予定)北川村柏木日時はハガキ及び上記ホームページ上にてお知らせします。

◎ 投稿先 NPO法人中岡慎太郎先生顕彰会 事務局宛て
〒781-6449 高知県安芸郡北川村柏木494番地

Tel 0887-38-2413 / FAX 左記に同じ